

# インフラ 運営事業

インフラ運営事業では、事業計画から運営・維持管理までを一気通貫で担う総合力を強みに、多様な分野で事業を展開しています。官民連携事業においては、PPP/PFIの推進を背景に、スタジアム・アリーナや水インフラ事業などの分野で実績を重ねてきました。再生可能エネルギー事業では、風力発電所の開発からO&M(運営・保守)までを一貫して手がけ、エネルギー問題や地域課題の解決に取り組んでいます。

これらの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現と地域の発展に貢献していきます。



三森峠風力発電所  
日本風力開発による開発を基盤に、前田建設及び前田道路が  
参画し、グループの総合力を結集して推進している



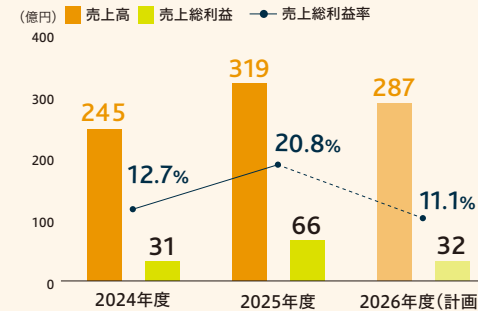
なかにし たかお  
中西 隆夫  
インフロニア・ホールディングス株式会社  
執行役 インフラ事業セグメント担当

## 執行役メッセージ

ものづくりの会社を原点としている我々には、事業を具体的に形にできる、設計、施工等のエンジニアリング力とファイナンス力が備わっており、インフラサービス事業のトップランナーとして多くの実績を重ねてきました。インフラサービスの社会的ニーズが急速に高まる中、現在は、投資事業拡大フェーズと位置づけ、中長期的な利益の拡大を目指しています。今までの経験と知識をさらに磨き、リーディングカンパニーとしての地位を高めてまいります。

## 業績の推移

### 前田建設グループ



## SWOT分析

### Strength 強み

- グループにおけるエンジニアリング力と開発力
- 豊富な事業実績で培ってきたファイナンス力、ノウハウ
- グローバルスタンダードを取り入れたオペレーションエクセレンス
- 最先端のデジタル技術やセンサー技術、AI技術の活用
- 開発・運営を通じた地域とのつながり

### Opportunity 機会

- インフラ更新・老朽化対策需要
- ウォーターPPP等の政府の民間資金活用方針による案件数増加<sup>※1</sup>
- 自治体技術者の高齢化・減少に伴う民間活用ニーズの拡大
- 再生可能エネルギー需要の高まり

### Weakness 弱み

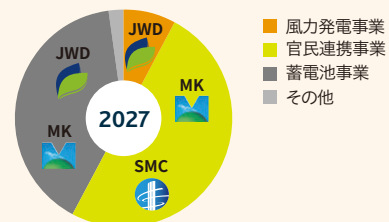
- 建設事業と比較して投下資本の回収に時間がかかる
- 国や自治体の施策・予算に左右され、公共依存度が高い構造
- 地域特性や需要に応じたオペレーション体制構築の難しさ

### Threat 脅威

- 法律・制度変更や国・自治体の政策変更
- 自然災害や気候変動
- 事業環境の変化(為替変動、物価高騰)
- 事業に対する地域住民との認識の乖離

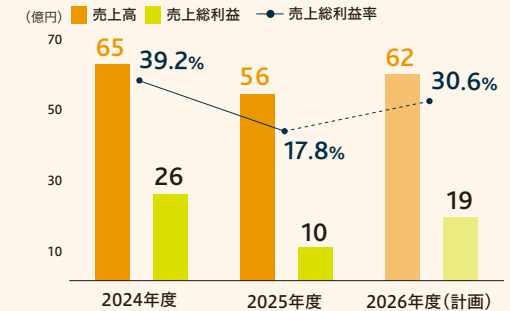
## 成長分野ポートフォリオ

### EBITDA構成比率



- 短期的には系統用蓄電池事業に注力
- 2030年度に向けて官民連携事業、風力発電事業を拡大

### 日本風力開発 連結



※1 PPP/PFI推進アクションプラン(令和7年度版)が内閣府より発表されました  
[https://www8.cao.go.jp/pfi/actionplan/action\\_index\\_r7.html](https://www8.cao.go.jp/pfi/actionplan/action_index_r7.html)

官民連携分野及び再生可能エネルギー分野において、これまで多様な案件に取り組み、着実に実績を積み重ねてきました。今後は、強化されたグループ各社のエンジニアリング力やネットワークを最大限に活用し、拡大が見込まれる需要を捉えて事業のさらなる成長を図ります。また、投資回収のスピードと収益性を重視し、バランスの取れたポートフォリオの構築を目指します。

## 2025年度の主な取り組みと今後の展望

### 前田建設

#### スタジアム・アリーナ事業

2025年度に運営を開始したIGアリーナ及びMUFGスタジアムではスポーツやエンターテインメントでグローバル水準の体験価値を提供しています。また、静岡市アリーナ整備・運営事業では、当社を含むコンソーシアムが事業者として選定され、運営開始に向けて準備を進めています。

異業種とも連携することで運営ノウハウの蓄積をし、今後も多様なタイプのスタジアム・アリーナ案件の提案力強化につなげていきます。



MUFGスタジアム（国立競技場）

#### 水インフラ事業

水の官民連携市場は国の政策を受けて急速に拡大しています。

当社グループでも、工業用水道及び下水道のコンセッション事業や包括的民間委託事業に取り組んでいます。2025年度には、当社グループにおいて初の水道（上水）事業である豊橋浄水場コンセッションを代表企業として獲得しました。

新たに当社グループに加わった水ingとも連携し、施設の維持管理や更新に対してDX化を図り、より高度なアセットマネジメントを通して、持続可能な水インフラを実現していきます。▶ [水インフラ事業の紹介](#) (P.28)



豊橋浄水場コンセッション

#### 道路運営事業

2016年から愛知県有料道路運営等事業を運営し、安全・安心でより快適な道路サービスの提供だけでなく、パーキングエリアの機能や魅力の向上、地域の活性化にも貢献しています。また、府中市においては、住民の皆様に寄り添った道路維持管理を行っています。蓄積した技術やノウハウを活かして、今後も安心して利用して頂ける道路を実現するべく邁進してまいります。

### 日本風力開発

#### 風力発電事業

昨今の風力発電所建設は、地域・環境に十分に配慮・適応した設計・工事が必要とされています。インフロニアグループでは、日本風力開発を中核とし、グループ内の力を結集し、風力発電事業を推進しています。

2025年度には、福島県にて三森峠風力発電所建設工事を前田建設の施工により着手しました。本工事には、協力会社として前田道路も参画しています。急峻な地形であり、かつ、国有保安林内に位置するため許認可上開発可能範囲が限られてしまう難易度の高い工事ですが、前田建設の施工能力を活かし、円滑に工事を遂行してまいります。

また、風力発電所の運転開始後には、前田製作所のクレーン技術等も活用し、安全・安定したO&M体制の構築を目指していきます。

#### 小売電気事業

2025年度に小売電気事業登録を完了し、2026年度から売電事業を開始しました。今後は発電所の開発・運営に留まらず、その生み出す再生可能エネルギーを需要家へ広く直接お届けできる体制を構築することで顧客や社会のニーズに柔軟に対応し、より付加価値の高いサービスを提供していくことで脱炭素社会の実現に貢献してまいります。



卒FIT電力を供給する  
銚子小浜風力発電所

#### 蓄電池事業

岐阜県において系統用蓄電所（約2MW/8MWh）を運転開始しました。電力系統の安定化や再生可能エネルギーの導入促進に資する本取り組みを加速させると共に、風力発電事業との連携も視野に、発電と蓄電を組み合わせた一体運営モデル構築の基盤の整備を進めます。



岐阜県各務原高圧蓄電所

### 従業員の声



とりやま あつし  
鳥山 淳史

日本風力開発株式会社  
陸上プロジェクト部

三森峠風力発電所は福島県郡山市で建設が進められており、風車事業用地の全域が国有林内に位置する難易度の高いプロジェクトです。

日本風力開発がインフロニアグループに加わって以降、前田建設と初めて連携して手掛ける風力発電所であり、現場においてもグループ連携により意思決定が円滑に進んでいると感じています。

運転開始予定は2029年と工事期間は長期間にわたりますが、関係者一丸となって安全最優先で工事を進めてまいります。